

事務事業名	市内保育所管理運営事務 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5130			
			所属課室	子育て支援課		課長名	子育て支援課			
			所属担当	保育所担当		担当者名	秋山 まさ美			
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		17 社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	02	04	02	04
施策		28 児童福祉の充実		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業					
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業					
	☐ 期間限定複数年度 (年度)	法令根拠		☐ 市の制度による義務的事業	☒ その他の事業					
			☐ 義務化されている協議会等の負担金							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)						
	児童の入退所・保育料徴収事務			項目(細節)金額(千円)項目(細節)金額(千円)						
	各保育所の警備・清掃等の委託契約事務を行う			講師謝金15委託料5,539						
				消耗品費7使用料867						
				印刷製本費750負担金46						
				手数料366						
				その他保険料586計8,176						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	保育所入所、保育料の徴収事務 各保育所委託契約
23年度活動予定	保育所入所、保育料の徴収事務 各保育所委託契約
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・入所を希望する0歳から5歳までの児童 ・現在保育所入所の0歳から5歳までの児童 ・各保育所委託	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
入所がスムーズにできるようにする 保育料の滞納者をなくす	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安心して子どもを保育所に預けられる	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 入退所相談数	人
イ 滞納整理回数	回
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 児童数	人
イ 入退所数	人
ウ 保育所数	所
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 児童数	人
イ 滞納者数	人
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 保護者の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	6,568	8,176	7,934	8,896	8,896	8,896		
	事業費計 (A)			千円	6,568	8,176	7,934	8,896	8,896	8,896	0	
	人件費	正規職員従事人数			人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間			時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
		人件費計 (B)			千円	5,353	5,353	4,754	4,754	4,754	4,754	0
		(A)+(B)			千円	11,921	13,529	12,688	13,650	13,650	13,650	0
活動指標			ア	人	250.0	250.0	250.0					
			イ	回	30.0	30.0	30.0					
対象指標			ア	人	2,320.0	2,220.0	2,165.0					
			イ	人	250.0	243.0						
			ウ	所	16.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0		
成果指標			ア	人	2,320.0	2,220.0	2,165.0					
			イ	人	262.0	162.0						
			ウ									
上位成果指標			ア	%		85.4						
			イ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	未満児から保育所に預けて働くお母さんが増えてきている。不景気の影響か滞納者が現年の保育料を払っても過年度分を払う事が出来ない人が多い
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	市内保育所管理運営事務	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 安心して子育てができる環境・体制が整い、働く親、女性の社会活動参画を支援することができる。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 入所事務、保育料徴収事務は私立の保育所にも手伝ってもらっているが、最終の調整・集計はこのままが妥当である	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 保育所の入退所及び保育料の決定徴収事務は維持継続していくのが妥当	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 保育所案内及び説明書の印刷内容を検討する	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 毎月の事務量が多いので今が妥当、削減余地無し	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 保育に欠ける児童を受け入れし、所得基準にあった保育料を徴収しているので公平である	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	保育所案内については、毎年立派なパンフレットを作成しているが、経費をかけないで、かけたと同等の効果があるよう検討する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 保育所案内パンフのページ数が減らせるか内容検討する ② 必要部数を把握して最低部数印刷する ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① ② ③																						